

仮訳

資料3-4

**CEP GACD/GADP 2007.2–Doc 3
(Draft Congress-Doc 30)**

UPU開発協力政策2009-2012

**DCAG /PDAG joint meeting
1st November 2007**





- **イントロダクション**

- **UPUの将来戦略**

- 環境及び協力に対する環境の影響
- 開発協カーナイロビ郵便戦略に横たわる軸

- **UPU開発協力政策**

- 2005–2008のレビューからの主な教訓
- 2009–2012におけるUPUの協力に関する行動原則
 - 関与する分野
 - 関与の方法論
 - 関与の手段
- 協力政策を実施するためのツール
- 財源

- **結論**



世界の諸国民間の通信と通商を円滑化するため、高品質、効率的かつ適切な料金のユニバーサル郵便サービスの持続的な発展を刺激すること。これを特に関係者間の協力と相互作用を保証し、効果的な技術協力を促進することにより行うこと。

(Stimulate the sustainable development of high-quality, efficient and affordable universal postal services so as to facilitate communication and commerce between the people of the world, in particular by ensuring cooperation and interaction among stakeholders and promoting effective technical cooperation.)

開発協力:

- UPUの使命の主要な構成要素: 効率的な国際協力の促進と実施
- UPUの戦略目的を実現するための鍵となるツール
- 全ての加盟国の懸念 – “Postal Divide” の縮減への関心

ナイロビ郵便戦略に記述される郵便分野において進展する一般的状況:

- グローバリゼーション
- 市場の自由化
- 貿易の国際化
- ICTを基礎とする情報社会
- 都市化
- 人の移動(migration)
- 人口の健全性

UPUの協力に影響を与えるトレンド

- 国連ミレニアム開発目標
 - 開発のための主要なレファレンス
 - 政府とドナーによる認知
 - UPUのIPDPにおける考慮
- 公的な開発支援
 - 国連機関のための主要な資金源
- 国連のコンセプト“一つの国連、一つの国”
 - 利益を得る国々はより大きな責任を
- 南南協力
 - 将来の解決を約束するもの
- 経済の地域化の進展
- ICT, インターネット – EコマースとMコマース
 - 市場開放
 - 中小規模のビジネス

○ 三次元ネットワークの相互接続

- 物理的 (physical)
- 電子的 (electronic)
- 金融的 (financial)

○ 郵便分野とその市場の開発

- 経済及び社会の発展における郵便サービス
- ミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals)

○ 郵便分野のよりよいガバナンス

- 誰もが利用できるユニバーサルサービス
- 地域のニーズに適合する開発協力

● 2005-2008レビューから導かれる主な教訓

● 地域開発計画とプロジェクト

- フィールドでのUPUアクションのための有益なツール
- 全ての地域においてRDPプロジェクトはすでに実施済み

● 統合郵便改革及び開発計画(IPDP(※))によるアプローチ

- よりよいガバナンスのためのツール
- 優先順位 – 形成済のIPDPの実施

※ IPDP: UPUの途上国支援プログラムの1つ。開発途上国において郵便改革等に対する支援を行うに当たり、個々の事業に対する財政支援ではなく、①現状診断、②行動のための基本原理、③郵便改革・開発計画のための勧告、④IPDPの種々の勧告実施のためのコストと資金調達、⑤IPDPの勧告実施のための期間、の5つの部分から成る改革のために作成される総合的な指南書。他の機関(世界銀行等)からの資金調達に活用される。

● 限定連合とのよりよい調整

- RDPの形成と実施の鍵となるパートナー
- 限定連合とUPUとの調整



● 2005-2008レビューから導かれる主な教訓

- 財源 (Financial resources)
 - 資金の投入 (Mobilization of funds)
 - UPU一般予算、QSF、任意拠出金

- 訓練 (TRAINPOST, e-learning)
 - TRAINPOSTの一般化の継続
 - オンライン訓練の拡充
 - 地域レベルのパートナーの支援

- フィールドでのプレゼンス – 多面性及び一層の専門性
 - 地域アドバイザー (Regional Advisers (RAs))
 - 限定連合 (Restricted Unions)
 - PTC配備センター (PTC deployment centres)
 - IPDP専門家

● 関与する分野

● 郵便分野の改革とガバナンス

- 開発協力の優先的な軸 (Priority axis of development cooperation)
- 国内レベルでの一貫性ある郵便改革
- よりよい国際相互接続 (Better international interconnection)
- 三次元的郵便ネットワーク (Three-dimensional postal network)
- IPDPプロジェクト

● 指定事業体の近代化

- ユニバーサルサービスに責任を有する指定事業体の近代化

● 人材開発

- 訓練＝開発のための戦略的課題
- 遠隔訓練の活用

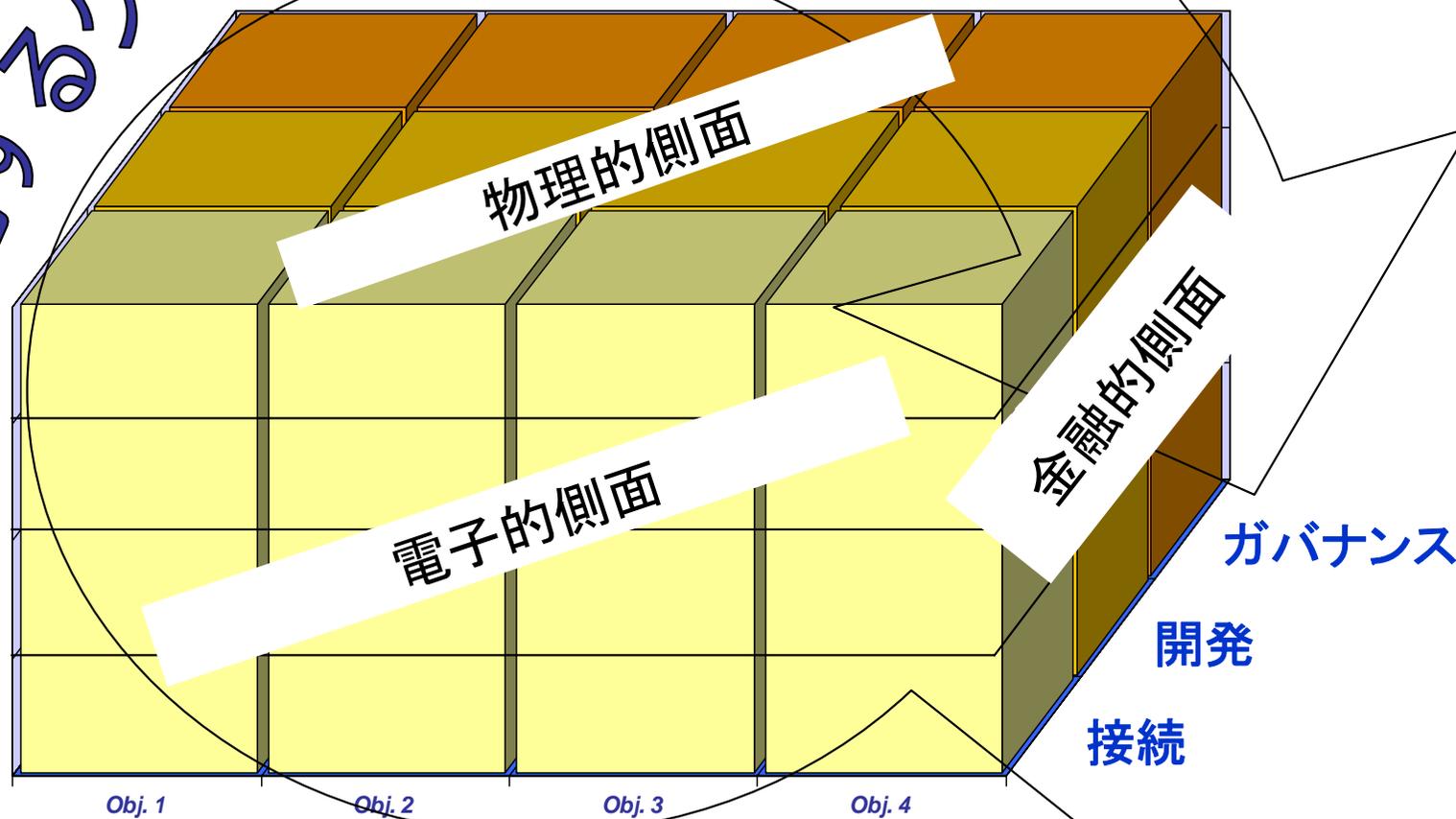
○ 関与の方法

○ 地域的アプローチ (RDP)

- UPUの協力の主軸
- UPUの協力のミレニアム開発目標との整合性を確保するもの
- 地域レベルでの現実に適合

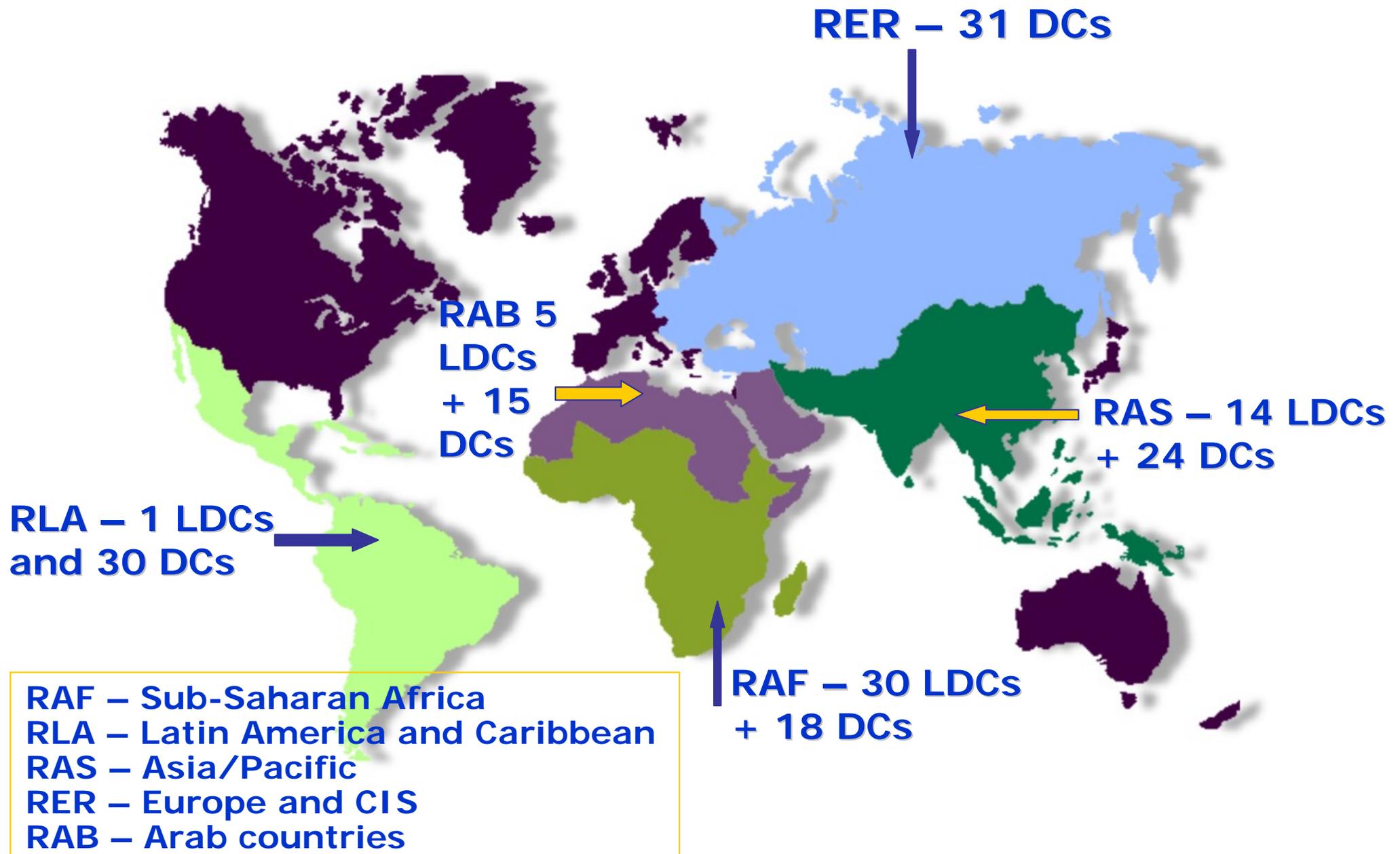


地域で実施するグローバル戦略



Regional differences – level of development

(Source: UPU brochure "Development of postal services in 2005")



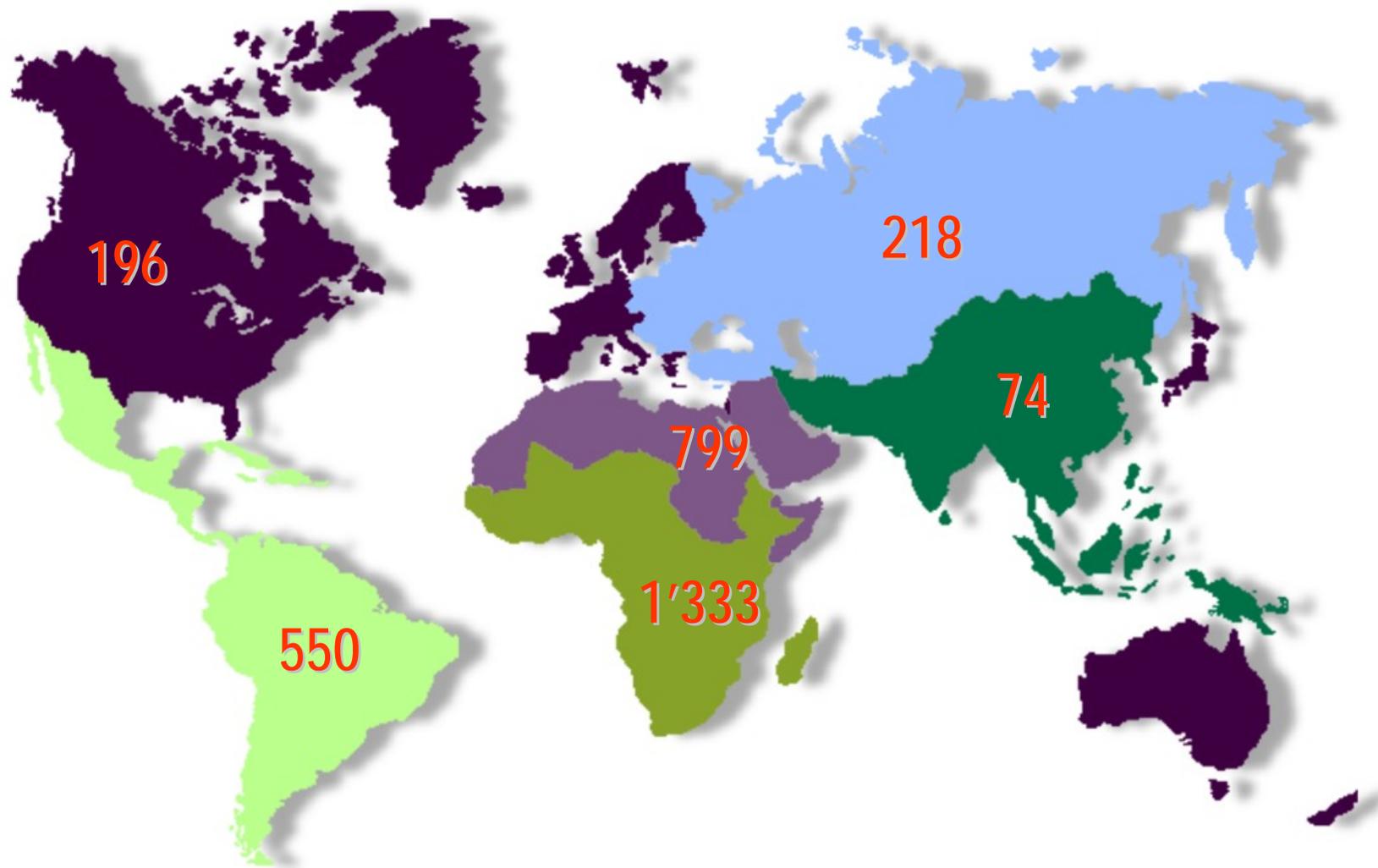


Regional differences – network

(Source: UPU brochure "Development of postal services in 2005")



Average area covered by a permanent office (km²), 2005

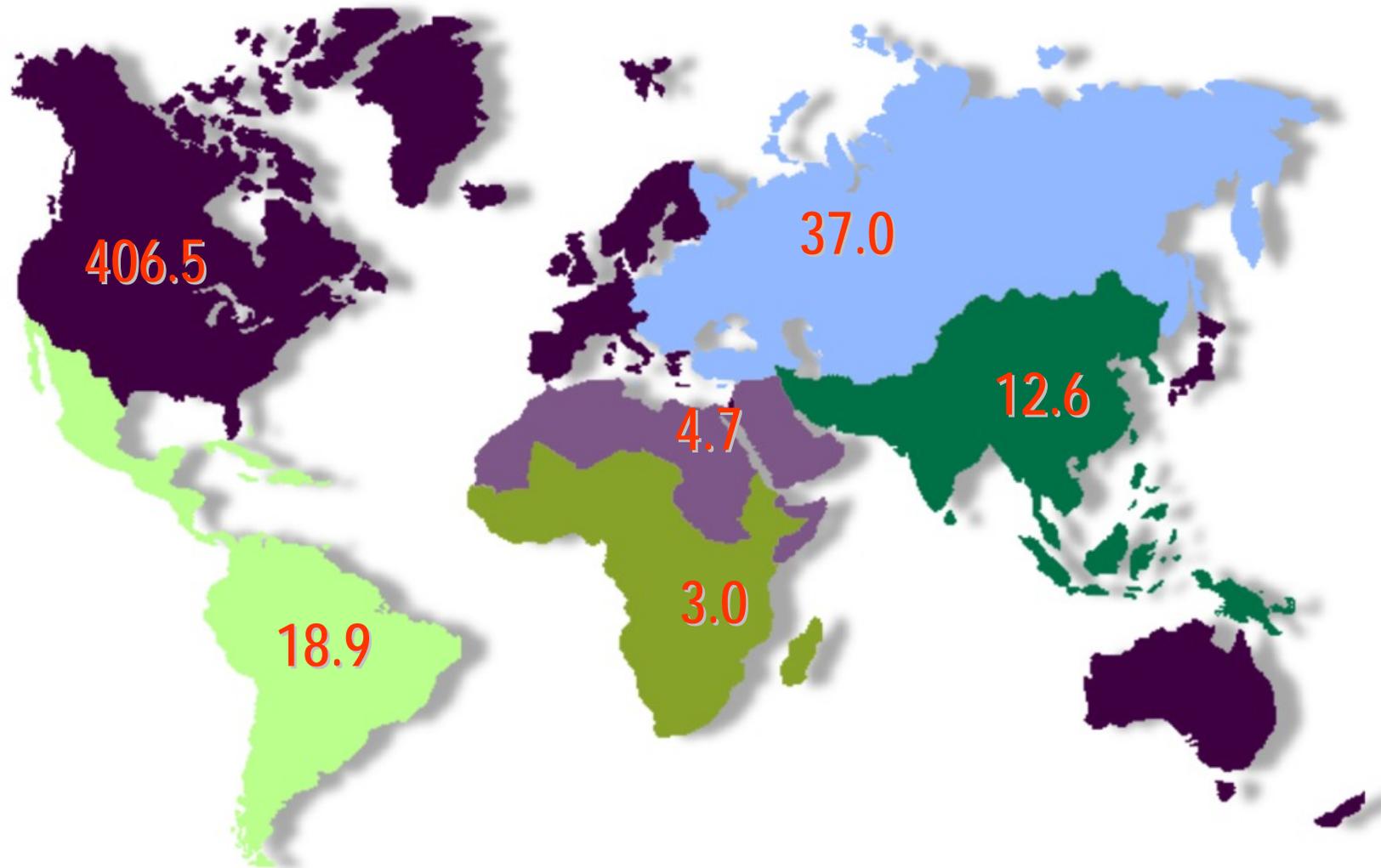


World average: **1'180**





Number of letter-post items posted per capita, 2005



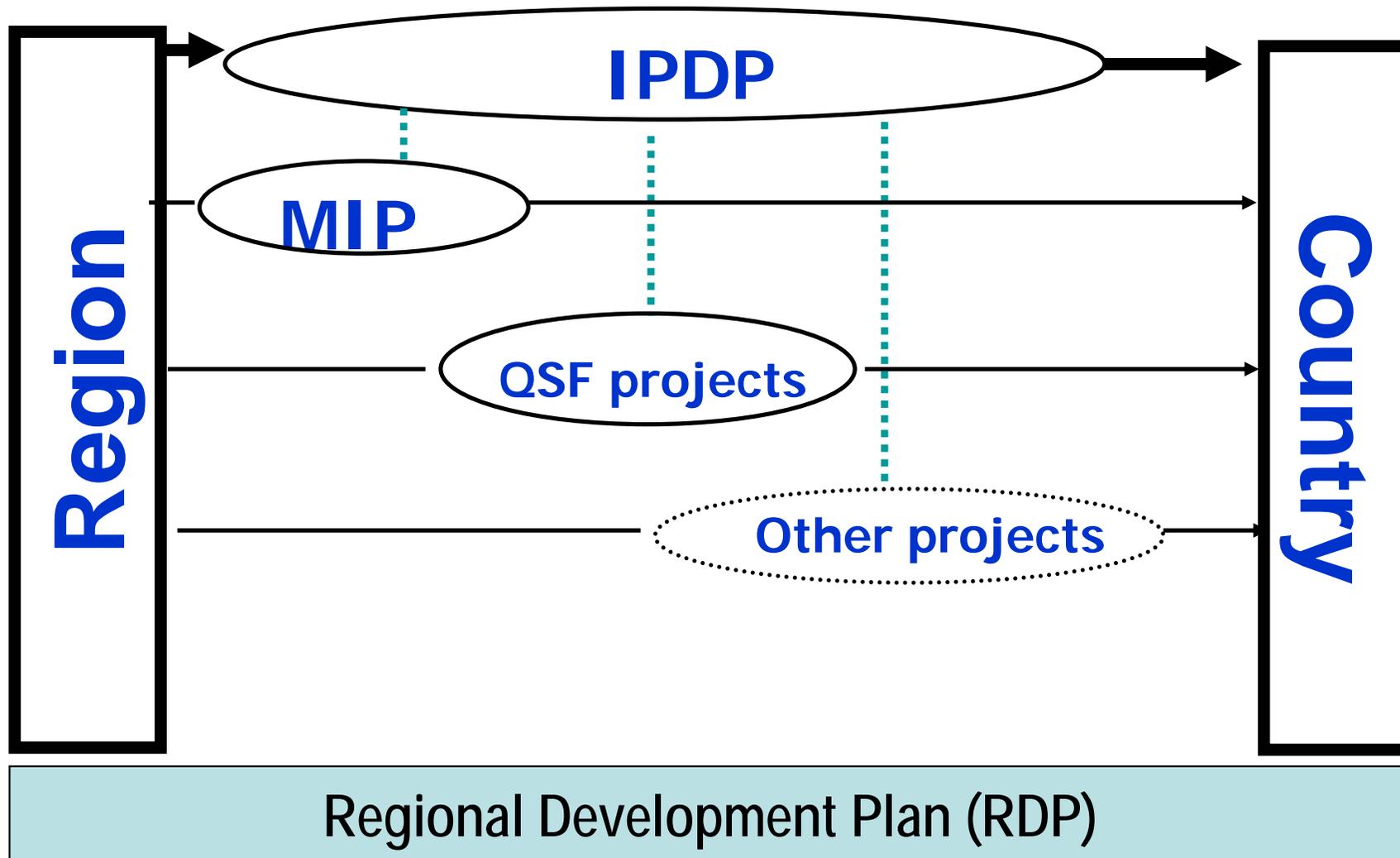
World average: **67.7**

● 関与の方法

- 開発のパートナーシップ
 - 限定連合
 - 国連機関との協力
 - ミレニアム開発目標への貢献

● 関与の道具

- 資金
 - UPU一般予算、QSF、特別基金
 - 資金収集政策 (国際及び地域投資機関)
- マネージメントと組織
 - UPU国際事務局(DCDEV)の調整的役割



● 地域開発計画 (Regional development plans)

- Roll-out of the NPS at a regional level
- フィールドでのUPU主導の活動を統合するための道具
- 追加的な資金集め

● 統合郵便改革・開発計画 (IPDPs)

- 有効性の認められたIPDPの実施とフォローアップ
- 新たなIPDPの形成
- 資金集めの支援

● 多年度統合プロジェクト (MIP)

- 国レベルでのMIP – 後発開発途上国 (LDC) 及び特殊な状況下にある国
- 受益国のコミットメント
- UPU予算 (MIP) とQSFとの補完性

● 訓練

- 遠隔学習
- パートナーシップと協力の合意
- 地域訓練機関に対する支援
- TRAINPOSTコースの普及

● フィールドでのUPUのプレゼンス

- 多面的な活動への適応
- 適切な財源
- 考慮中の課題 – 1月のCA/POC会合に提出

● UPU予算 2005-2008

- 11'423'900 CHFの予算配分
- MIPsの貸付金額 - 5'878'200 CHF (地域アドバイザーに対する残額)

● 特別基金 2005-2008

- 紐付きでない金額 (TRAINPOSTに活用) - 約800'000 CHF
- 紐付き - 拠出金の一部は地域アドバイザーに、他は特定のプロジェクト/活動に - 約2'800'000 CHF
- UNDPプロジェクトは1つ (パキスタン)

● 2009-2012

- MIPへの貸付が増額しない場合は現状維持 - 6'000'000 CHF
- 任意拠出金の増額の奨励
- QSF (サービス品質基金) との補完性
- IPDPsによる予算外の財源